

機械設備工事施工管理基準

平成24年4月1日適用

目次

機械設備工事施工管理基準

1. 目的
2. 適用
3. 構成
4. 用語の意義
5. 管理の実施
6. 管理項目及び方法
7. 規格値
8. その他

出来形管理基準及び規格値

1. 共通編

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 2-2-5-8 | ダクトイル鋳鉄管の接合、ボルトの締付けトルク値 |
| 2-2-6-2 | 横走り排水管の勾配 |
| 2-2-7-1 | 管の中心線の変位 |
| 2-2-7-2 | 掘削、保護砂厚、埋め戻し工、管の埋設深、施工延長 |
| 2-3-1-4 | 空調設備機器の隔離 |
| 2-3-1-5・6 | ダクト保温材の厚さ |
| 2-4-1-1 | 仮設足場、仮囲い、ガードフェンス |
| 2-4-3-1 | 基礎砕石厚、均しコンクリート厚等 |
| 2-4-4-1 | 基礎工（現場打ち）、集水枿工 |

2. 空気調和設備工事

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 3-2-1-2・3 | ボイラー基礎厚、温風暖房器基礎厚、ポンプ基礎厚 |
| ・16 | |

3. 自動制御設備工事

- | | |
|---------|--------------|
| 4-2-1-1 | 操作器、制御盤等の基礎厚 |
|---------|--------------|

4. 給排水衛生設備工事

- | | |
|---------|----------------|
| 5-2-1-2 | 各種便器等衛生器具の取付高さ |
| 5-2-2-2 | 各種ポンプの基礎厚 |
| 5-2-2-3 | 温水器等の基礎厚 |
| 5-2-2-4 | 各種タンクの隔離 |

5-2-2-5	屋内・外消火栓、消火箱の取付高さ、厨房機器の設置高さ
5. ガス設備工事	
6-2-2-1	ガス栓、ガス漏れ警報器等の離隔及び設置高さ
6. さく井設備工事	
7-2-1-1	掘削
7-2-1-2	測定震度
7. 浄化槽設備工事	
8-2-2-1	配管、電気、土工事
8-3-2-1	ユニット型浄化槽設置基準
8. 昇降機設備工事	
9-2-2-1	一般エレベーター (電動機、制御盤等の設値基準)
9-3-2-1	復及型エレベーター (電動機、制御盤等の設値基準)
9-4-2-1	非常用エレベーター (電動機、制御盤等の設値基準)
9-5-2-1	小荷物専用昇降機 (電動機、制御盤等の設値基準)
9-6-2-2	エスカレーター (電動機、減速機の設置基準)
9. 機械式駐車設備工事	
10-2-2-1	操作盤、制御盤等設置基準

機械設備工事施工管理基準

この機械設備工事施工管理基準（以下、「管理基準」とする。）は、「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」に規定する機械工事の施工管理及び規格値の基準を定めたものである。

1 目的

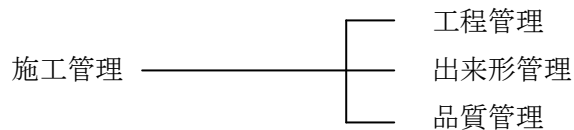
この管理基準は、機械工事の施工について、契約図書に定められた工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保を図ることを目的とする。

2 適用

この管理基準は、小諸市が発注する機械工事について適用する。また、工事の種類、規模、施工条件等により、この管理基準によりがたい場合、または、基準が定められていない工種については、監督員等と協議のうえ、施工管理を行うものとする。

3 構成

施工管理の構成は、下記によるものとする。



4 用語の意義

用語の意義は次のとおりである。

(1) 工程管理とは

工事に必要な資材の調達、労務者の手配を考慮し、工事施工完成に必要な作業の手順及び日程を定めて、工程表を作成し、更に工事の実施過程において計画と実績を比較検討し、工期内に工事が完成するように必要な措置をすること。

(2) 出来形管理とは

施工する築造物の出来形（形状、寸法など）を把握するために、築造物の寸法、凹凸、勾配、基準高を施工の順序に従い直接測定し、その都度その結果を管理図表や一覧表に記録し、出来形を確保するために必要な措置を行うこと。

(3) 品質管理とは

工事用資材や構造物等の品質を把握するために、物理的、科学的試験を実施し、その都度その結果を管理図表や一覧表に記録し、良好な品質を確保するために必要な措置を行うこと。

5 管理の実施

- (1) 請負者は、工事施工前に、施工管理計画及び施工管理担当者を定めなければならない。
- (2) 施工管理担当者は、当該工事の施工内容を把握し、適切な施工管理を行わなければならない。
- (3) 請負者は、測定（試験）等を工事の施工と並行して、管理の目的が達せられるよう速やかに実施しなければならない。
- (4) 請負者は、測定（試験）等の結果をその都度逐次管理図表等に記録し、適切な管理のもとに保管し、監督員等の請求に対し直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

6 管理項目及び方法

(1) 工程管理

請負者は、工程管理を工事内容に応じた方式（ネットワーク（PERT）又は棒線方式など）により作成した実施工程表により行うものとする。但し、応急処理又は維持工事等の当初工事計画が困難な工事内容については、省略できるものとする。

(2) 出来形管理

請負者は、出来形を出来形管理基準に定める測定項目及び測定基準により実測し、設計値と実測値を対比して記録した出来形成果表又は出来形図を作成し管理するものとする。但し、測定数が10点未満の場合は出来形成果表のみとし、出来形図の作成は不要とする。

(3) 品質管理

請負者は、品質を品質管理基準に定める試験項目、試験方法及び試験基準により管理、その管理内容に応じて、工程能力図又は、品質管理図表（ヒストグラム、 $\bar{x}-R$ 、 $\bar{x}-R_s-R_m$ など）を作成するものとする。但し、測定数が10点未満の場合は品質管理表のみとし、品質管理図の作成は不要とする。

この品質管理基準の適用は、下記に掲げる工種①～③の条件に該当する工事を除き、試験区分で「必須」となっている試験項目は、全面的に実施するものとする。

7 規格値

- 請負者は、出来形管理基準及び品質管理基準により測定した各実測（試験・検査・計測）値は、すべて規格値を満足しなければならない。

8 その他

請負者は、工事写真を施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、工事中の災害写真等を撮影し、適切な管理のもとに保管し、監督員等の請求に対し直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

出来形管理基準及び規格値

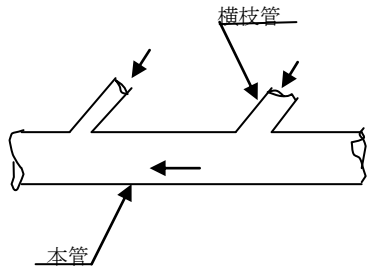
出来形管理基準及び規格値

1. 共通工事

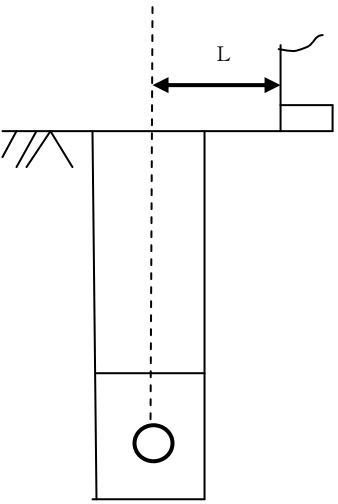
(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
2	2	5	8		ダクタイル鋳鉄管の接合	(K形継手)		全箇所		規格値を上回ってはならない。
					呼び径75～250	受け口端面から 白線までの間隔 (A) 許容胴付間隔 (Y)	$A \leq 95$ $Y = 20$			
					呼び径300～600	受け口端面から 白線までの間隔 (A) 許容胴付間隔 (Y)	$A \leq 107$ $Y = 32$			
					ボルトの締付けトルク	呼び径75 (M16)	60 N・m	全本数		
						呼び径100～600 (M20)	100 N・m			

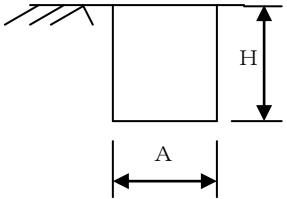
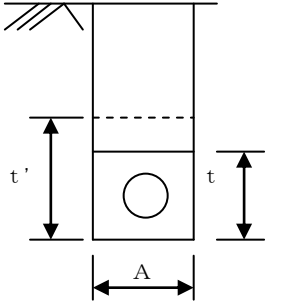
(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
2	2	6	2		横走り排水管の勾配	勾 配	最少：1／50 最小：1／100 ：125mm ：150mm以上	実施箇所ごとに 測定する。		

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
2	2	7	1		管の中心線の変位	オフセット長さ (L)	±50	施工延長概ね50m(測 点間隔20mの場合は 40m)につき1箇所の 割合で測定する。基準と なる構造物等がない場 合は別途協議とする	 <p>The diagram illustrates a vertical pipe section. A dashed vertical line represents the centerline of the pipe. A horizontal double-headed arrow labeled 'L' indicates the offset distance from this centerline to the ground surface. The ground surface is shown as a horizontal line with diagonal hatching on the left side. Below the ground surface, the pipe is shown as a vertical rectangle with a circle inside representing the pipe's cross-section.</p>	全箇所満足 しなければならない。

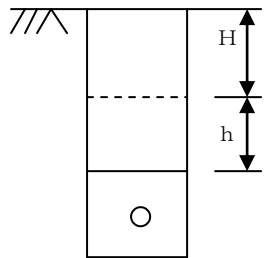
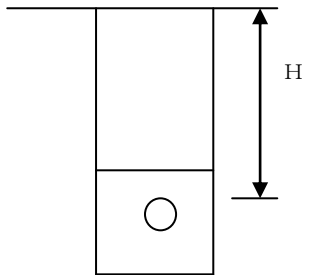
(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要			
2	2	7	2		掘 削	外形・寸法		施工延長概ね50m（測点間隔20mの場合は40m）につき1箇所の割合で測定する。上記未满是2箇所測定する。		合格判定 全箇所満足 しなければならない。			
						幅 : A 深さ : H	設計値-50 設計値±30						
					保護砂 (H P P E管) ーポリエチレン管	外形・寸法		施工延長概ね50m（測点間隔20mの場合は40m）につき1箇所の割合で測定する。上記未满是2箇所測定する。		合格判定 全箇所満足 しなければならない。			
						幅 : A 巻立厚さ : t'	設計値-50 設計値±30				口径 (mm)	仕上厚 (m)	巻立厚 (m)
							50				0.26	0.30	
							75				0.29	0.34	
							100				0.33	0.38	
							150				0.38	0.44	
	200	0.45	0.52										

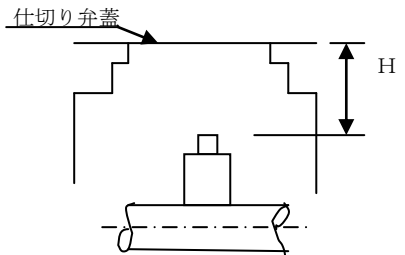
(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要			
2	2	7	2		保護砂 (DCIP 管)—ダク タイル管	外形・寸法 幅 : A 巻立厚さ : t'	設計値－50 設計値±30	施工延長概ね50m (測点間隔20mの場合は40m) につき1箇所の割合で測定する。上記未満は2箇所測定する。		合格判定 全箇所満足 しなければならない。			
											口径 (mm)	仕上厚 (m)	巻立厚 (m)
											75	0.29	0.34
											100	0.32	0.37
											150	0.37	0.43
											200	0.42	0.49
											250	0.47	0.55
											300	0.52	0.60
											350	0.57	0.66
											400	0.63	0.73

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
2	2	7	2		埋戻工	仕上げ厚：H	±30	施工延長概ね50m（測点間隔20mの場合は40m）につき1箇所割合で測定する。上記未満は2箇所測定する		
					管の埋設深 施工延長	深さ（H） 全施工延長 200m未満の場合 200m以上は全施工延長の	+30 -200 -0.1%以内	施工延長概ね50m（測点間隔20mの場合は40m）につき1箇所割合で測定する。上記未満は2箇所測定する		全箇所満足しな ければなら ない。

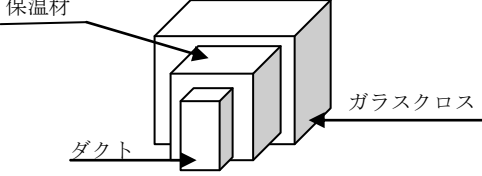
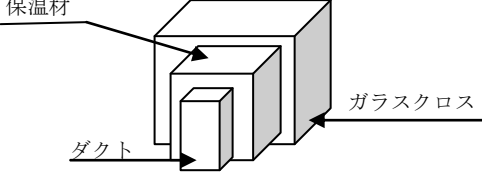
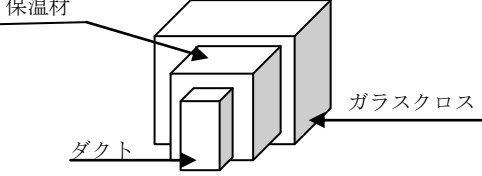
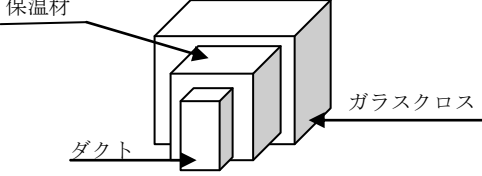
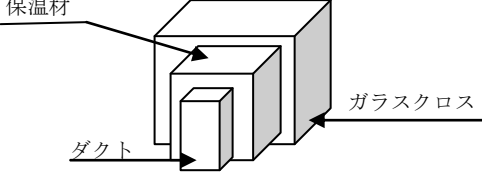
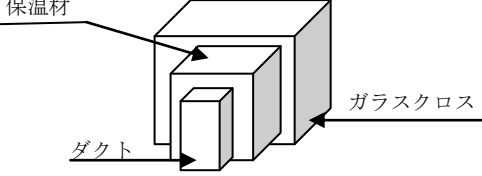
(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
2	2	7	2		仕切り弁設置高さ	仕切り弁開口蓋 と弁天端部まで の垂直距離：H	0～+30	埋設深さ、管径に よる。		

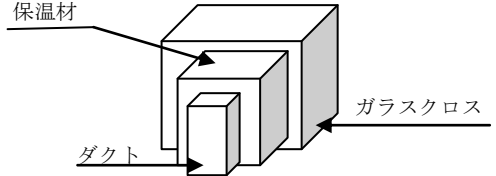
(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
2	3	1	4		空調設備機器	天井からの隔離 L：150mm 床面からの隔離 L=200mm				内部温度 12～40℃ 外部温度 5～33℃ 相対湿度 70%
共通 工事	保温 、 塗装 及び 防錆 工事	保温 工事 ・ 5 給排水 衛生設 備工事 の保温 ・ 6 保温材 の厚さ	長方形ダクト の保温	①グラスウール保 温板2号 24K、32K、 40K（40Kは ガラスクロス仕上 の場合に使用す る） ②ロックウール保 温板1号、2号 （2号はガラス クロス仕上の場合 に使用する）材料厚 さ：S	管径、管内温度、 周囲温度、相対湿 度により巻立厚は 異なる。	・長方形ダクト 露出の場合 25mm				

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
2	3	1	4		長方形ダクトの保温	①グラスウール保温板	隠ぺいの場合			
						2号	2.5			
2	3	1	4		長方形ダクトの保温	②ロックウール保温板	隠ぺいの場合			
						1号	2.5			
2	3	1	4		円形ダクト	①グラスウール保温板	露出の場合			
						2号2.4K、3.2K	2.5			
2	3	1	4		円形ダクト	②グラスウール保温帯	隠ぺいの場合			
						2号2.4K、3.2K	2.5			
2	3	1	4		円形ダクト	③ロックウール保温帯	隠ぺいの場合			
						1号	2.5			
2	3	1	4		円形ダクト	④ロックウールフェルト	隠ぺいの場合			
							2.5			

(単位：mm)

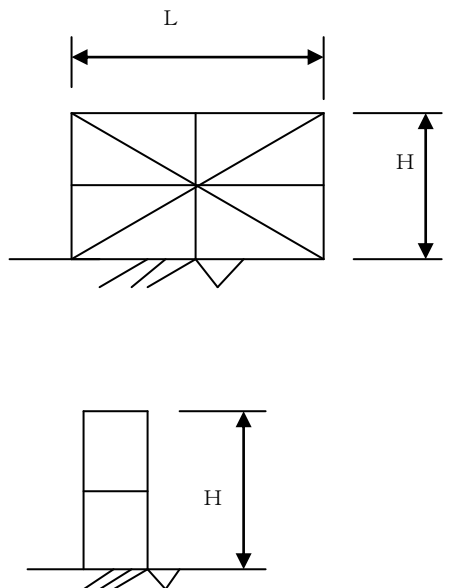
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
2	3	1	4		排煙ダクト	①グラスウール保温板 2号24K、32K 40K ②グラスウール保温帯 2号24K、32K 40K ③ロックウール保温板 1号、2号 ④ロックウール保温帯 1号 ⑤ロックウールフェルト	25			官公署の指導 などのある場 合は、その指 示による。

保温材の厚さ

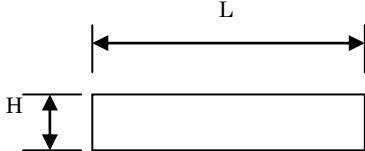
(単位：mm)

呼び径 保温種別		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	参考使用区分	
I	イ	20						25			40			ロックウール	温水管		
	ロ	20						25			40			グラスウール	給湯管		
II	イ	20		30			40						ロックウール	蒸気管(低圧(0.1MPa未満))			
	ロ	20		30			40						グラスウール				
III	イ	30			40						50		ロックウール	冷水管 冷温水管			
	ロ	30			40						50		グラスウール				
	ハ	30			40						50		ポリスチレンフォーム				
IV	ハ	30		40					50				ポリスチレンフォーム	冷水管(冷水温度2~4℃)			
V	ハ	40			50				65				ポリスチレンフォーム	ブライン管			
VI	イ	30			40						50		ロックウール	冷媒管			
	ロ	30			40						50		グラスウール				
VII	イ	20						25		40			ロックウール	給水管			
	ロ	20						25		40			グラスウール	排水管			
	ハ	20						25				ポリスチレンフォーム					
VIII	25															機器、排気筒、煙道、内貼	
IX	50																
X	75																
XI	屋内露出(機械室、書庫、倉庫)及び隠ぺい部は25、屋内露出(一般居室、廊下)、屋外露出及び多湿箇所は50																

(単位：cm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
2	4	1	1		仮設足場	設置高さ：H 設置延長：L 設置面積：A	設計値+30 設計値+30 設計値以上	全数を測定		

(単位：cm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
2	4	1	1		仮囲い・ガード フェンス	設置高さ：H 設置延長：L	設計値+30 設計値+30	全数を測定	 <p>The diagram shows a horizontal rectangle representing a fence section. A vertical double-headed arrow on the left side is labeled 'H', indicating the height. A horizontal double-headed arrow above the rectangle is labeled 'L', indicating the length.</p>	

(単位：mm)

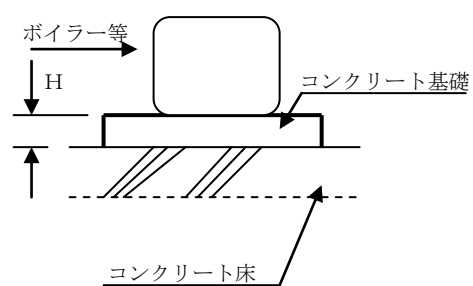
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
2	4	3	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート工)	幅 W 厚さ t 1 t 2 延長 L	設計値以上 - 3 0 各構造物の規格値 による	施工延長 4 0 m (測点間隔 2 5 mの場合は 5 0 m)につき 1 箇 所、延長 4 0 m (又は 5 0 m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		土木工事施 工管理基準 準用。
					4 コ ン ク リ ー ト 工 事	基礎工 (現場打)	基準高 ▽ 幅 W 高さ h 延長 L	± 3 0 - 3 0 - 3 0 - 2 0 0	施工延長 4 0 m (測点間隔 2 5 mの場合は 5 0 m)につき 1 箇 所、延長 4 0 m (又は 5 0 m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。	

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
2	4	4	1		集水桝工	基準高 ∇ 厚さ $t_1 \sim t_5$ 幅 W_1, W_2 高さ h_1, h_2	± 30 -20 -30 -30	1箇所毎 ※は、現場打部 分のある場合		土木工事施 工管理基準 準用・

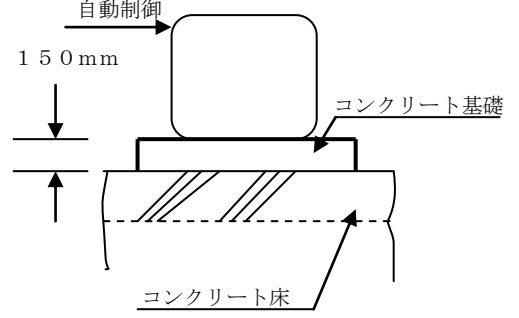
2. 空気調和設備工事

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
3	2	1	2		鋼製ボイラー 鋼製簡易ボイラー 小型貫流ボイラー 温風暖房器 ポンプ	基礎高さ：H	150以上	施工箇所全数		
					真空給水ポンプ 油ポンプ	基礎高さ：H	200以上			

3. 自動制御設備工事

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
4	2	1	1		圧力検出器及び発信器 操作器 自動制御盤 中央監視盤	基礎高さ：H	150以上	施工箇所全数		

4. 給排水衛生設備工事

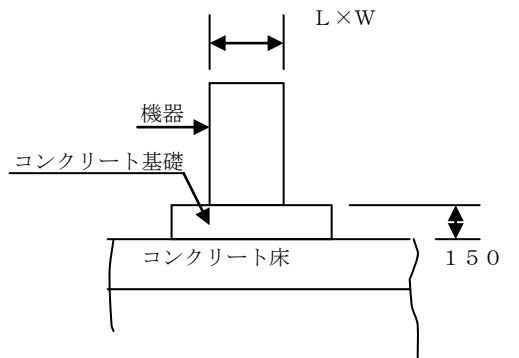
(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
5	2	1	2		和風大便器 洋風便器 男子小便器 洗面器及び手洗器 掃除流し器 洗浄用タンク 紙巻器	衛生器具の床面からの取付高さ：H	<ul style="list-style-type: none"> ・腰掛便器上端まで：+370前後 ・腰掛便器（車椅子対応）上端まで： +400程度 ・小便器上端まで：+1,000 ・洗面器上端まで：+750前後 ・手洗器上端まで：+750前後 ・紙巻器：+700程度 ・男子小便器壁からの離れL：500 mm以上（最少400） ・男子小便器の設置間隔B：800 mm以上（最少700） ・水平棚（床面から） H：1,400mm ・ 	全数測定。		

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
5	2	2	2		揚水用ポンプ (横形) 及び小形給 水ポンプユニット 揚水用ポンプ (立形) 給湯用循環ポンプ 深井戸用水中モータ ーポンプ 消火ポンプユニット	コンクリート 基礎厚 : t 長 さ : L 幅 : W	300以上 機械長さ+200 機械幅 +200	施工箇所毎		

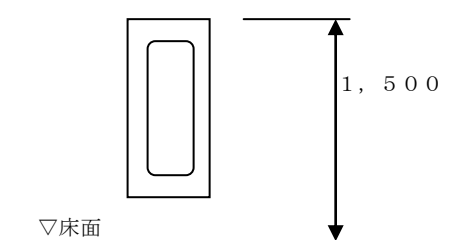
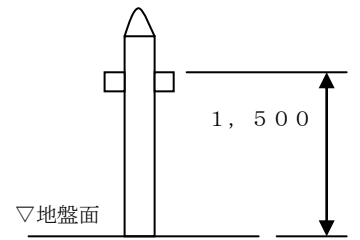
(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
5	2	2	3		温水発生機 コージェネレーシ ョン装置 貯湯式電気温水器	コンクリート 基礎厚 : t 長 さ : L 幅 : W	150 機械長さ+200 機械幅 +200	施工箇所毎		

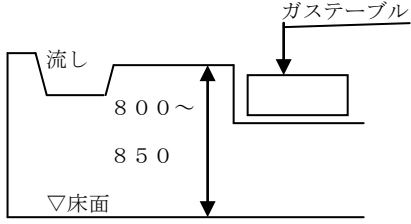
(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
5	2	2	4		FRP製及びステン レス鋼板製タンク 貯湯タンク 給湯用膨張・補給水 タンク 給湯用密閉形角膜式 膨張タンク 消火用充水タンク	受水槽の隔離 空頭：B 水平：H 下側：C	1000以上 600以上 600以上	設置箇所ごと		飲料水以外 の配管が受 水槽室を通 らないこ と。

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
5	2	2	5		屋内消火栓箱及び 各種格納箱 屋外消火栓（地上 式）	取付高さ：H （地盤又は床 面からの高さ）	屋内消火栓開閉弁 H：1,500以下 スプリンクラー用制 御弁及び各種手動起 動装置 H：800以上 1,500以下 連結送水管送水口 H：500以上 1,000以下 H：200mm	全箇所測定。	<p>(屋内消火栓箱・消火栓開閉弁)</p>  <p>(屋外消火栓—地上式)</p> 	
					消火栓箱	取付高さ：H （床面から）	H：1,500以下			

(単位：mm)

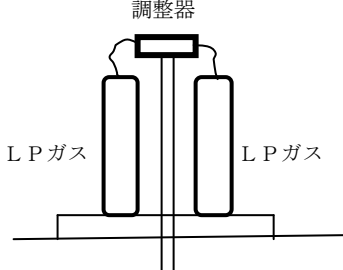
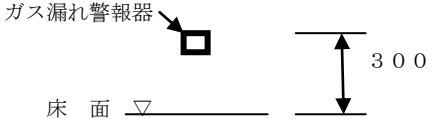
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
5	2	2	6		厨房機器	機器類設置高さ： H（床面から）	H：800～850	設置箇所測定。		

5. ガス設備工事

(単位：mm)

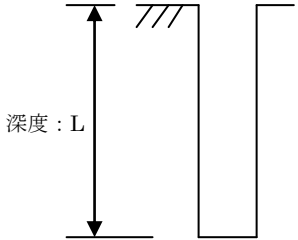
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
6	2	2	1		ガス栓	燃焼器等からの離隔		設置箇所全数測定。		空気より軽いガスは都市ガス。 空気より重いガスはLPガス。
					ガス漏れ警報器	ガス比重<1 水平距離8m以内 ガス比重>1 水平距離4m以内 機器の設置高さ： ガス比重<1 H（天井面から） 300以内 ガス比重>1 H（床面から） 300以内				
					ガスメーター	地盤面からの高さ	800以上			

(単位：mm)

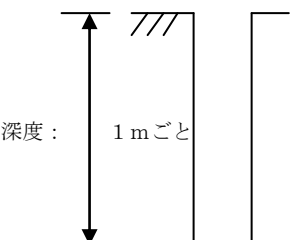
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
6	3	2	1		自動切換式調整器	機器類の設置高さ : H	1400以内	全数測定。		
					ガス漏れ警報器	燃焼器等からの離隔 水平距離 高さ (床面から)	4000以内 300以内			

6. さく井設備工事

(単位：m)

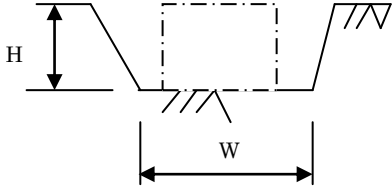
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
7	2	1	1		掘 削	深度：L	設計値以上	施工個所全数		

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
7	2	1	2		地質構造	土の比抵抗値	1 mごとに測定	地表から孔底まで		
さ	さ	機	電		揚水試験	水量、水質、水位、 水圧、流向、流速、 透水係数				
く	く	材	気							
井	井	及	検							
設	設	び	層							
備	備	施								
工		工								
事										

7. 浄化槽設備工事

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
8	2	2	1		配管工事 電気工事 土工事	掘削深さH： 幅W：	深さ：±50 幅：-100	施工箇所ごと	 <p>The diagram illustrates a cross-section of a trench. A dashed rectangular box represents the trench's profile. A vertical double-headed arrow on the left side is labeled 'H', indicating the depth of the trench. A horizontal double-headed arrow at the bottom is labeled 'W', indicating the width of the trench. The trench is shown with sloped sides and a hatched bottom, suggesting it is a cut-and-fill excavation.</p>	

(単位：mm)

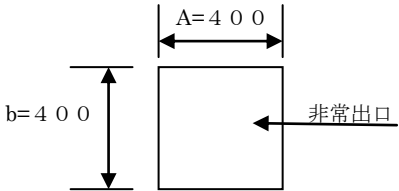
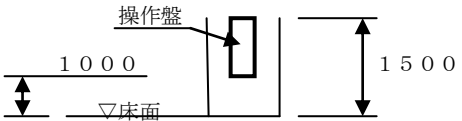
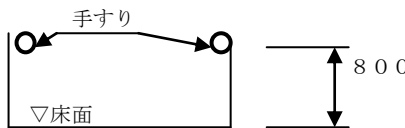
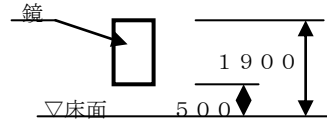
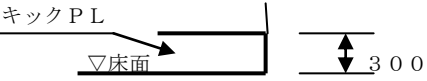
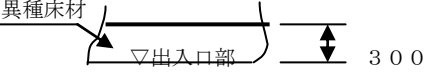
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
8	3	2	1		ユニット型浄化槽	基準高：▽ 中心線のずれ： $\delta 1$ 偏心量： $\delta 2$	± 30 ± 50 ± 50	施工箇所ごと	<p>(側面)</p> <p>(平面)</p> <p>(側面)</p>	

8. 昇降機設備工事

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
9	2	2	1		巻上機	基礎形状		全施工箇所		
					電動機	コンクリート				
					電源盤及び制御盤	厚さ : t 長さ : L 幅 : W	150 L+200 W+200			
				4	かごの着床精度	乗用 乗用以外	±10以内 ±15以内			可変電圧可 変周波数。 供給電源の 電圧変動は 5%以内、 周波数変動 は1%以 内。かご内 荷重は定格 積載量。

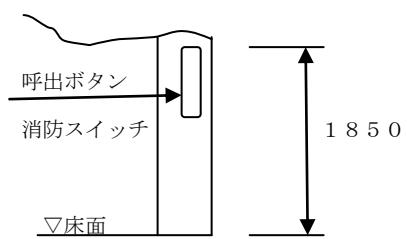
(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要		
9	2	2	2	3	非常出口 (天井部) かご室	一辺の辺長：a	400以上	全施工箇所				
						: B	400以上					
						面積：A	0.2㎡以上					
						かご内専用操作盤 押しボタン	設置高さ：H 取付位置：B				床上1,000程度 床上1,500以下	
						かご内手すり	取付高さ：H				800程度 (左右両面)	
						かご内鏡	下端 (床面から) 上端				500程度 1,900程度	
						キックプレート	側面又は背面				床上300	
かご床材	出入口部	幅300程度										

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
9	2	2	8	3	塗装仕上げ標準	表面平面度 1種（乗用） 2種（乗用、人荷、 寝台） 3種（荷物）	0.3 0.4 0.5	長さ600mm のストレートエ ッジを使用。		

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
9	4	2	1		(非常スイッチ)	高さ：H (床面上)	1, 8 5 0 以下	全施工箇所		呼出ボタンは乗降ロビーに設置。
					一次、二次消防運 転スイッチ	高さ：H (床面上)	1, 8 5 0 以下			

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
9	5	2	1	4	かごの着床精度	定格速度 1.5m/min以下	±3.0以内	全施工箇所		可変電圧可 変周波数。 供給電源の 電圧変動は 5%以内、 周波数変動 は1%以 内。かご内 荷重は定格 積載量。
昇 降 機 設 備 工 事	小 荷 物 専 用 昇 降 機	機 材 及 び 施 工	駆 動 装 置 等	電 源 盤 及 び 制 御 盤		1.5を超え4.5 m/min以下	±4.0以内			

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
9	6	2	8		保護板	水平距離	500以下			
昇	エ	機	安							
降	ス	材	全							
機	カ	及	装							
設	レ	び	置							
備	丨	施								
工	タ	工								
事	丨									

10. 機械式駐車設備工事

(単位：mm)

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
10	2	2	2		(自動車出入口の最少有効寸法)	高さ：H 幅：W	1600 自動車幅員+500			
					装置内の人の通路となる部分の	高さ：H 幅：W	1800以上 500以上			
			3		出入口床面との隙間	水平距離 垂直距離	40以下 50以下			